

福岡市立病院機構における
重要課題等の進捗状況

- 1 旧こども病院（旧患児家族宿泊施設「わらべ」）の解体工事完了について
- 2 福岡市民病院のあり方検討について
- 3 「ふくおかハウス」の増室について
- 4 バス営業所の開設に伴うこども病院敷地内施設等の改修について

1 旧こども病院（旧患児家族宿泊施設「わらべ」）の解体工事完了について

(1) 工事概要

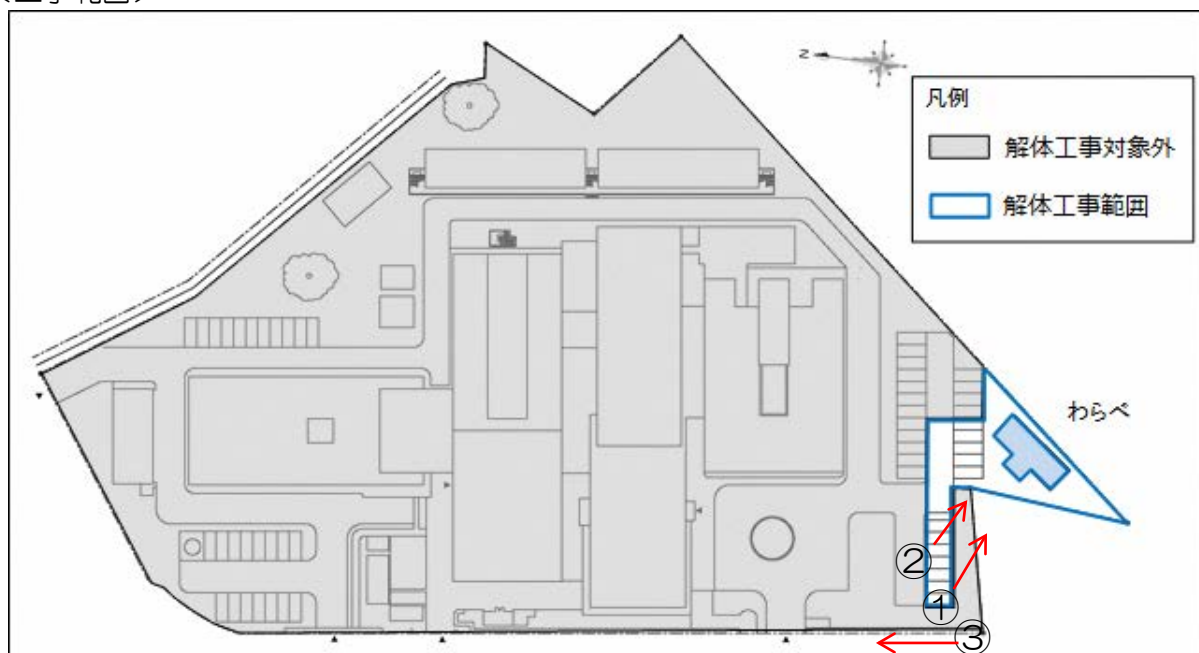
旧患児家族宿泊施設「わらべ」については、病院機構と市（保健福祉局障がい施設課）との使用貸借の覚書に基づき、市が解体工事を実施

- ① 工事範囲：建物解体（旧患児家族宿泊施設「わらべ」），設備解体，外構解体，整地
- ② 施 行 者：有限会社 楓工業
- ③ 契 約 日：平成 30 年 1 月 17 日
- ④ 工 期：平成 30 年 1 月 18 日から平成 30 年 3 月 15 日まで
- ⑤ 完 了 日：平成 30 年 3 月 15 日
- ⑥ 総 額：7,191,828 円（税込み）

(2) 解体後の管理

不審者の敷地内への立入りや安全面を考慮し、敷地周囲にパネルを設置

<工事範囲>



* 数字は撮影場所

<解体工事前・後の様子>



①建物解体前



②解体・整地工事後



③パネル設置状況

2 福岡市民病院のあり方検討について

(1) これまでの経緯

- 平成 元年 5 月 開院
- 平成 20 年 6 月 福岡市病院事業運営審議会答申
- 平成 20 年 9 月 議会決議で、市民病院のあり方検討に関し将来的な必要性に言及
(諸条件を踏まえあり方を再度検討)
- 平成 20 年 12 月 新病院基本構想策定 (市民病院は現施設を活用して存続)

【平成 20 年 6 月福岡市病院事業運営審議会答申】(抜粋)

繰入金が増大するなど経営改善の達成状況が不十分な場合や、施設老朽化の時期においては、医療環境や財政状況など諸条件を踏まえて、市民病院のあり方について、再度検討する必要があると考えられる。

【平成 20 年 9 月福岡市議会決議】(抜粋)

新病院は、「小児・周産期医療機能」に「成育医療機能」を併せ持つ市民のための病院とし、将来的に高度先進医療などの機能拡充についても検討すること。

現在の市民病院については、地方独立行政法人へ移行後に、検証及びその結果を経て、その在り方について検討すること。

(2) 現在の状況

- 平成 22 年の地方独立行政法人福岡市立病院機構設立以降、第 1 期・第 2 期中期目標期間を経ており、上記の福岡市病院事業運営審議会答申及び福岡市議会決議を受けた独法化による効果の検証が必要な時期となっている。
 - 市民病院は平成元年竣工で、ハード面からも将来に備えた検討が必要な時期である。
 - 平成 29 年 3 月に福岡県において地域医療構想が策定され、福岡県が公的病院別と同構想に基づく役割や病床機能のあり方を議論された。
- 上記を踏まえ、引き続き必要な情報の収集・分析や課題の整理に努めているところ。

(3) 今後の予定

- 福岡市立病院機構と協議しながら、資料収集、情報分析、整理
- 国や福岡県の動向などを情報収集
- 市民病院の将来のあり方について、諮問に向けた資料作成
- 福岡市病院事業運営審議会へ諮問

3 「ふくおかハウス」の増室について



(1) ふくおかハウスの概要

- ①場 所：東区香椎照葉5丁目1番2号
(福岡市立こども病院敷地内)
- ②規 模：鉄骨造・2階建, 16室, 1,466.95㎡
- ③名 称：「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか」
(略称：「ふくおかハウス」)
- ④運 営：公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
- ⑤利用料金：1,000円/人・日(別途, リネン料173円/日, 駐車場300円/日)
- ⑥開 所 日：平成27年5月1日

(2) 利用状況

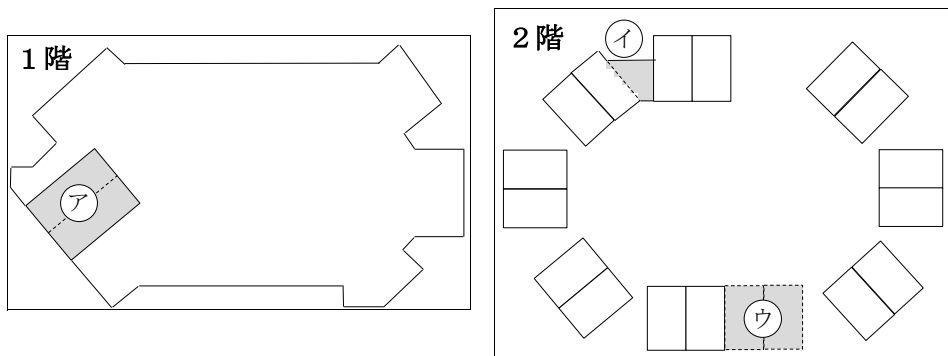
区分	利用人数	利用家族数	平均稼働率	平均滞在日数	こども病院 新規入院患者数
平成27年度 (11か月)	1,870人	831家族	76.0%	4.78日	6,038人
平成28年度	2,143人	877家族	81.2%	5.58日	6,429人
平成29年度	2,252人	956家族	80.2%	4.93日	6,908人

(3) 増室内容

- ①増室数：ツイン4部屋, シングル1部屋の合計5室増室(16室→21室)

(内訳)

- 1階 図書室を改造し2室に改修・・・2室(図書類は1階談話スペースに移動)→ア
- 2階 既存大部屋1室を2室に分割・・・1室→イ
- 2階 将来増室予定スペースに増築・・・2室→ウ



②費用負担

- ・建物の所有者である病院機構と財団で, 現行の持分に応じ, それぞれ2分の1を負担する。
- ・病院機構の負担分は, こども病院設置の寄付金(患児家族滞在施設整備基金)及び自己資金(利益剰余金の取り崩し)とする。

③スケジュール

稼働予定：平成31年7月

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建築申請・業者選定							
		施工					
						稼働	

4 バス営業所の開設に伴うこども病院敷地内施設等の改修について

(1) 概要

平成31年3月末に、こども病院北側隣接地に西日本鉄道(株)のバス営業所が開設され、さらに、平成32年度には、バス停(バスロータリー)も新設される予定である。

営業所開設に伴い、

- ・バス停の整備に伴う緊急車両等への影響の排除
- ・現交差点出入口の利用車両の分散等

を図るため、こども病院敷地内施設を改修するもの。

(2) 工事内容

①交差点出入口付近の道路改修工事

- ・交差点出入口の進入路線形の変更
- ・敷地境界構造物の撤去 等

②南側出口の双方向化

- ・看板等付替え工事
- ・路面標示変更工事 等

(3) 費用負担

- ・西鉄が改修工事費全額を負担

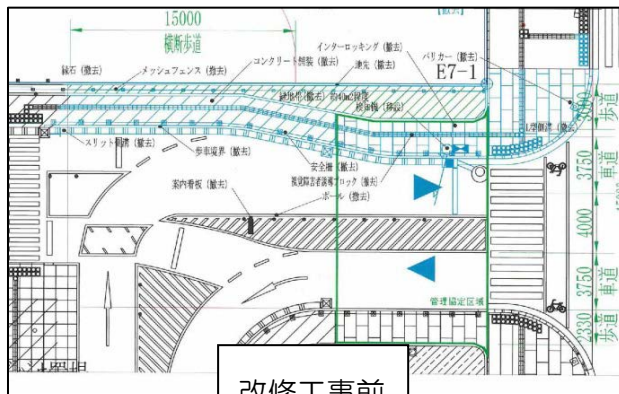
(4) 見込まれる効果

- ・交差点部のゼブラゾーンを広げることで、車両が滞留した場合でも緊急車両の通り抜けが可能となる。
- ・現在、一方通行(出口のみ)となっている南側出口の双方向化に伴い、交差点出入口の一般車両の分散化が図られる。
- ・現こども病院正面玄関前発着のバスの便数に加えて、新設されるバス停に発着する便数が純増予定であり、こども病院の利用者の利便性が向上する。

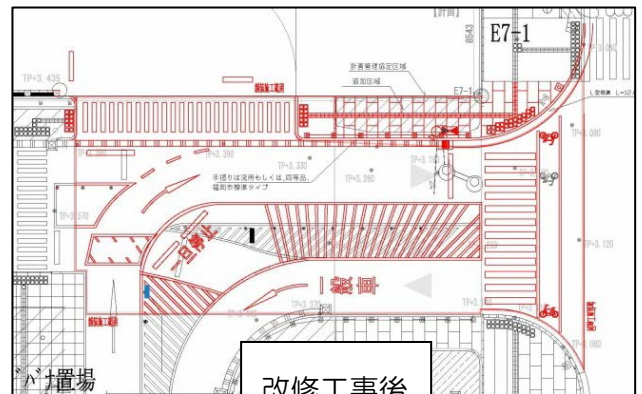
(5) 工程

	12月	H31 1月	2月	3月	平成31年度以降
交差点出入口付近の道路改修工事(こども病院敷地内)	道路使用許可申請	進入路線形変更・敷地境界構造物撤去等		工事完成届等	
南側出口の双方向化(こども病院敷地内)	道路使用許可申請	看板等付替え工事等	供用開始		
バス停(バスロータリー)整備(西鉄)				バス営業所開設	平成32年度バス停使用開始

(6) 配置図



改修工事前



改修工事後

